

解答

12月号

(10) 夏子	(8) ア	(7) 広田	(4) エ	(1) ア
ウ	⑥	みど	⑤	⑤
誠一	(9) しいん	どりの	(5) イ	(2) イ
ア	⑥	のほ	⑤	⑤
	とな	んと	(6) ウ	(3) ウ
	つた	とう	⑤	⑤
	(9) 【抜き出し】	の気		
		持ち		
		ち		
		⑥		

(7) 【同意文可】  
(8) 6点×5  
(9) 他5点×6  
(10)

1 / 60

(4) ウ	(2) ア	(1) 1
⑥	⑥	イ
(5) 目	(3) おかあさん	⑤
⑥	・	2 ウ
(6) イ	(に) タケちゃん	⑤
⑥	いちゃん	3 エ
	(完答) 【順不同可】	4 ア
		⑤

(1) 5点×4  
(2) 他6点×5  
(3)

2 / 50

① ア	③
②	②
② イ	③
③	③
③ イ	②
④	④
④ ウ	②
⑤	⑤
⑤ ア	②

2点×5

3 / 10

① ウ	④
②	②
② ア	③
③	③
③ エ	②
④	④
④ オ	②
⑤	⑤
⑤ イ	②

2点×5

4 / 10

⑨ 養	⑤ 比	① 目標	5
②	②	②	
⑩ 積	⑥ 許可	② 機会	
②	②	②	
	⑦	③	
	⑦ 配布	③ 観光	
	②	②	
	⑧	④	
	⑧ 犯人	④ 望遠鏡	
	②	②	

2点×10

5 / 20

## 解答

12月号

1

(1)	27.5	(2)	30
(3)	151.8	(4)	$1\frac{4}{23}$
(5)	301		

1  
/40  
8点×5

2

(1)	21	日間	(2)	日	曜日
(3)	96	個	(4)	3	個

2  
/32  
8点×4

3

(1)	二等辺	三角形	直角二等辺	三角形	(1)【完答】
(2)	75	度	(3) 面	クオエサ	
(4)	辺	アセ			

3  
/32  
8点×4

4

(1)	5	(2)	木	曜日
-----	---	-----	---	----

4  
/14  
7点×2

5

(1)	100	(2)	209
-----	-----	-----	-----

5  
/12  
6点×2

6

(1)	8	cm	(2)	88	cm
-----	---	----	-----	----	----

6  
/10  
5点×2

7

(1)	45	度	(2)	12
-----	----	---	-----	----

7  
/10  
5点×2

解答

12月号

1

(1)	工	(2)	ア		
(3)	①	おおいぬ 座	②	C	
	③	シリウス	④	ア	⑤
(4)	①	デネブ	②	ウ	
	③	天の川	④	工	

1 /33  
3点×11

2

(1)	①	ほくとしちせい 北斗七星	座	②	ほっきょくせい 北極星
	③	5 月	④	イ	⑤
(2)	①	西	②	イ	

(1)①【完答】

2 /23

(2)4点×2 他3点×5

3

(1)	101 g	(2)	A	(3)	D	(4)	ア
-----	-------	-----	---	-----	---	-----	---

3 /12  
3点×4

4

(1)	10 g	(2)	4.5 g	(3)	ア・イ
(4)	①	ウ			
	②	ふたをかぶせて消す。 (ふたたびふたをとり、アルコールの蒸気 <sup>じょうき</sup> をとばす。)			
	③	ほうわ 水よう液	④	19 g	⑤

(4)②【同意可】

4 /32  
4点×8

## MONTHLY TEST

### 解答

12月号

1

(1)	イ	(2)	ほんち 盆地	(3)	か	ん	し	よ
(4)	ウ	(5)	ア	(3)【ひらがな4字指定】				
(6)	a	工	b	ア	(7)	イ		

1  
/16  
2点×8

2

(1)	①	あいがも	②	工	(2)	①	イ	②	ア
(3)	農 業 協 同 組 合					(1)①【ひらがな指定】 (3)【漢字6字指定】			
(4)	D	びちく 備蓄	米	E	ゆにゆう 輸入(外)	米			
(5)	イ	(6)	ゆうき 有機	JASマーク					

2  
/27  
3点×9

3

(1)	①	とうほく 東北	地方	②	にいがた 新潟	県	③	ア	④	たんさく 単作
(2)	①	トラクター	②	コンバイン	(2)【カタカナ指定】					
(3)	①	イ	②	げんたん 減反						
	③	A	転	作	B	休	耕	(3)③【漢字2字指定】		

3  
/30  
3点×10

4

(1)	①	きんこう 近郊	②	イ						
(2)	①	こうれいち 高冷地	②	工	③	つまごい 孀恋	村			
(3)	①	そくせい 促成	②	ビニールハウス (ビニルハウス)		(3)②【カタカナ指定】				
	③	ろじ 露地	④	ア						

4  
/27  
3点×9

※指定以外のひらがな可・漢字まちがい不可

① <物語文の読解>

- (1) 「例の」という言い方は、“いつも同じようであること”の場合に使います。このことから、夏子は“いつも大声で話している”ことがわかります。
- (2) どうして夏子が立ち上がったのかを考えてみましょう。直前にあるように「けがや病気を口実にして、清掃や週番をサボる人がいる」という発言があったからです。これを聞いて、みどり思いの夏子はどのように思うのでしょうか？ ひどく腹を立てるにちがいありませんね。そうした気持ちを表すのが「ふんぜん」という言葉です。
- (3) 直前の平井先生の「それは、だれの意見だ？」という思いがけない言葉に、みんなが“あつけにとられている”様子をとらえましょう。
- (4) 「そこ」の指す内容を考えてみましょう。その直前で先生の言った「発言しない者も、みんな、それぞれに意見を持っている」ということを指します。先生は、“とりあえず、みんな、それぞれに意見を持っていることまではよろしい”と言ったのです。
- (5) 「なにか、ぬけてやしないか？」という先生の質問の意味をつかみかねて、みんなは、このような表情をして、おたがいに顔を見合わせたのです。この点から、「げげんな顔」とは、どのような顔なのかを推理してみましょう。“先生、へんなこと言うな”とふしぎに思ったはずです。
- (6) 先生の真意を理解したのは、誠一だけでした。だから、手を上げて、発言したのです。その発言に対して、「先生はにこりとし」、みんなは「広田さんは欠席だもの、しょうがない」という反応を示したことから考えてみましょう。みんなは、広田さんの気持ちなどはそっこのけにして、自分たちの気持ちだけで意見を言っていますね。
- (7) 「はっとした」のは、「何かに気がついた」からです。ここでは、もちろん、先生の言葉が、夏子にあることを気づかせたのです。それは、「きみたちは、ほんとうに、広田のために、そうしているのか？」と言ったこと。つまり、その後の先生の言葉にあるように「友だち(=広田みどり)のほんとうの気持ち」をよく考えなかったのではないかと、ということに気がついたのです。
- (8) 話の流れから考えてみましょう。「落とし穴におちる」とは、ここでは、“自分たちは予期していないのに、ついうっかりと思いがけない失敗をする”という意味で使われています。
- (9) 直前の「また」、直後の「チャイムが、いやに大きく鳴りひびいた」という言葉をヒントに考えてください。「広田のために、そうしているのか？」という先生の言葉の後で、教室の空気はどうなったでしょう？ チャイムが、大きく聞こえたのはどうしてでしょう？
- (10) 人物の性格を読みとるときには、その人物の“言動”に着目することが大切です。夏子は、(2)でも見たように、友だちのみどりに対する不正な発言に対して、腹を立て、反論する姿勢から、「正義感が強い」ことが読み取れますね。誠一については、話の終わりの方の誠一の発言から、「考えが深い」ことが読み取れるでしょう。

② <物語文の読解>

- (1) 1…顔をあらった後、おとうさんたちにまず何を言うのでしょうか？
- 2…2行あとのおばさんの言葉「あの……おかあさんはね、」をヒントに考えましょう。「おかあさん」について説明しているということは、その前でたずねられたからです。
- 3…「にいちゃんもいないけど……」ということからもわかるように、おかあさんばかりか、にいちゃんもいないので、どうしたのかと不安になって聞いたのです。
- 4…2行あとの「おばさんはなぐさめました」というところをヒントに考えましょう。にい

ちゃんまで東京に行ってしまったので、さびしいのです。

- (2) ノンちゃんは、顔をあらった後で、ごはんを食べています。また、(1)の1に「おはようございます！」を入れることができれば、わかりますね。さらに、おかあさんは「暗いうちに、お茶づけ食べて出てらっした」という部分もヒントですね。
- (3) まず、「おかあさん」が行ったことはわかるでしょう。(1)から、ノンちゃんが、「にい……ちゃん……は？」とたずねた後で、「タケちゃんもいったの……」と聞き直していることから、「タケちゃん」は「にいちゃん」であることがわかりますし、また、「おかあさん」といっしょに東京へ行ったこともわかるでしょう。おばちゃんの「タケちゃんだけお泊まりして、あした、おじいちゃんに送ってきていただくの」という言葉からも、わかりますね。
- (4) 直前のおばちゃんの「チラとおとうさんを見」た様子や、「あの……おかあさんね、」というように言うのをためらっている様子などから考えてみましょう。何かわけがありそうですね。でも、それを正直にすべてノンちゃんには言えないのでしょうか。そんなときは困ってしまいますね。
- (5) “おかあさんは、東京へ行った”という思いがけないことを聞かされて、ノンちゃんは“びっくりした”にちがひありません。そうした気持ちを表す慣用句です。
- (6) はじめは、“お勝手にどなったり、おみおつけに大すきなダイコンをたくさん入れてあげたというのを聞いて、うれしそうな表情を見せたり”して、ノンちゃんのかかる元気な様子を読みとれます。しかし、中ほどでは、おかあさんが東京へ行ったことを知らされて、さびしい気持ちになります。終わりの方は、「涙がでてきそうになったりする」ほど、かなしいのです。

### 3 <主語・述語の文型>

- ① 「走った」→「走る」→「どうする」
- ② 「暑かった」→「暑い」→「どんなだ」
- ③ 「きれいだ」→「どんなだ」
- ④ 「姉妹です」→「姉妹だ」→「なんだ」
- ⑤ 「行きました」→「行く」→「どうする」

### 4 <副詞>

- ① 木枯らしがふく様子→「ピューピュー」
- ② 歩き去る様子→「すたすたと」
- ③ 雨が降り出した様子→「ぼつぼつ」
- ④ 春風がふいている様子→「そよそよ」
- ⑤ さくらの花びらが散る様子→「はらはら」

## 1 &lt;計算問題&gt;

(1)  $220 \div 8 = \underline{27.5}$

(2)  $(4 + 29 \times 4) \div 4 = 4 \times 30 \div 4 = \underline{30}$

(3)  $3.6 \times 45 - 10.2 = 162 - 10.2 = \underline{151.8}$

(4)  $\frac{18}{23} + \frac{17}{23} - \frac{8}{23} = \frac{18}{23} - \frac{8}{23} + \frac{17}{23} = \frac{10}{23} + \frac{17}{23} = 1 \frac{4}{23}$

(5)  $265 + \square - 15 \times 20 = 266$ ,  $\square - 15 \times 20 = 1$ ,  $\square = 1 + 15 \times 20 = \underline{301}$

## 2 &lt;ご石の数, 日付の基本&gt;

## (1) &lt;日数計算&gt;

1日から始まる日付で考えます。1日から23日までは23日間ありますが、1日から2日までの2日間はこれにふくまれません。

$23 - 2 = \underline{21}$ 日間です。

$23 - 3 = 20$  とするまちがいが多いので気をつけましょう。

## (2) &lt;暦(こよみ)と曜日&gt;

12月2日の後, 7ずつたしていくと土曜日がわかります。

$2 + 7 = 9$ 日,  $9 + 7 = 16$ 日,  $16 + 7 = 23$ 日,  $23 + 7 = 30$ 日。

ですから, 12月31日は日曜日です。

また, 一週間のくり返しを利用した計算でも求めることができます。

$31 - 1 = 30$ ,  $30 \div 7 = 4$ 週あまり2日

(土日月火水木金)  $\times 4 +$  (土日) なので, 日曜日です。

## (3) &lt;ご石を長方形にならべる&gt;

8個ずつ12列にならんでいるので,  $8 \times 12 = \underline{96}$ 個です。

## (4) &lt;ご石を正方形にならべる&gt;

90個のご石でできる一番大きい正方形は,  $9 \times 9 = 81$ 個分です。

残りの  $90 - 81 = 9$ 個でできる正方形を

考えればよいので,  $9 = 3 \times 3$  より, 3個となります。

## 3 &lt;円と多角形, 展開図の基本&gt;

## (1) &lt;円と二等辺三角形&gt;

半径はどこも長さが等しいので, どちらも二等辺三角形であることはわかります。しかし, 三角形の名前を答える問題なので, さらにくわしい名前がある場合にはそちらを答えなければいけません。一方の三角形には直角が含まれているので, 直角二等辺三角形を答えとしてください。

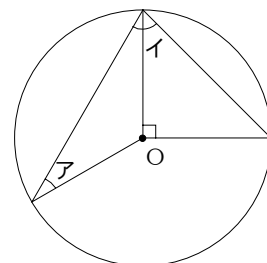
(2) <円と角度>

角度の問題の多くは、角度の和差パズルです。  
360度、180度、90度をもとに、  
たしたり、ひいたりすることで求めていきます。

「あれっ、もう、たしひきできない。」

となったときに、二等辺三角形を探すと  
問題解決の糸口がそこから見つかります。

ここでは、探すまでもなく、  
そのままですから等しい角度に印をつけるなどすれば、  
かんたんに答えをだせます。イ=ア+45 ですから、  
イ=30+45=75度 です。



(3) <展開図の組みたて>

右のように、面アイスセを辺スセと辺スシが重なるように  
動かしてあげることができます。

ですから、向かい合う面は、面クオエサです。

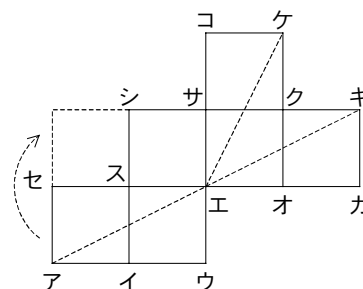
(4) <展開図-立方体>

右の図で、ア-エ-ケというように結ぶと  
アとケが重なることがわかります。

ア-エ-キと結ぶと、キもアと重なることがわかります。

同じように考えると、コはシとセと重なります。

よって、答えは辺アセです。



4 <暦(こよみ)の標準一月日と曜日>

(1) 「二四六九士(2・4・6・9・11)」小の月は覚えましょう。31日間ない月の数は5です。

(2) 9月は30日間です。30÷7=4週あまり2日 なので、  
2つの曜日が5回になります。

土曜日が4回で金曜日が5回ということは、もう1つは木曜日ということになります。

つまり、9月30日は金曜日です。また、9月は1日から始まるので、

9月1日と2日の曜日が5回ずつあるということになります。

9月2日が金曜日で、9月1日は木曜日ということになります。

5 <ご石のならべ方の利用>

(1) 1から始まる奇数の和は、「個数×個数」で求められることがわかります。

1から19までの奇数の個数を求めるときは、むずかしく考えず、

その次の偶数を2でわりましょう。「奇数・偶数・奇数・偶数…」

というようにならんでいるので、何組あるかを求めれば個数がわかります。

「2ずつ増える等差数列なので…」でもいいですが、できるだけ肩の力を抜いて、

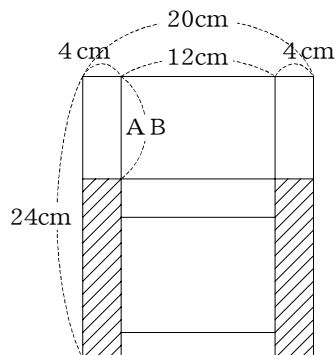
比較的可たんなどらえ方をしたほうが楽しくもなるし、身にもつきます。

(19+1)÷2=10, 10×10=100 となります。

- (2) 1から始まることにおきかえます。1から29までの15個の和から、  
1から7までの4個の和をひけば求められます。  
 $15 \times 15 - 4 \times 4 = 225 - 16 = \underline{209}$  です。

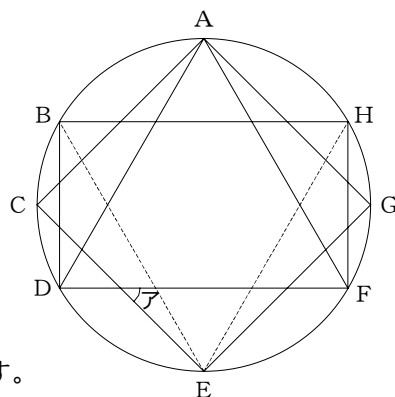
6 <展開図-直方体>

- (1) 右の図の中のABを求めます。  
 $(24 - 4 \times 2) \div 2 = \underline{8 \text{ cm}}$  です。
- (2) 切り取る前と取った後で  
まわりの長さはかわりません。  
 $(20 + 24) \times 2 = \underline{88 \text{ cm}}$  です。



7 <円と多角形の応用>

- (1) CGを結んだ線とDFは平行になります。  
つまり、直角二等辺三角形を考えれば  
よいことになります。  
つまり、45度です。
- (2) EとB, EとHを結ぶと三角形EBHが  
正三角形であることがわかります。  
よって、 $AB \cdot BD \cdot DE \cdot EF \cdot FH \cdot HA$ は  
同じ長さです。  
また、CとGはそれぞれ、BDとFHのまん中の点です。  
よって、6等分をさらに半分にした12等分に  
なっていることがわかります。



## 1 &lt;星座&gt;

- (1) 全天で88の星座が決められています。日本からは、約50の星座を見ることができます。
- (2) 星座をつくる星は、みな太陽と同じ種類で、恒星とよばれるものです。星座をつくる星が、太陽ほど明るく見えないのは、太陽よりもずっと遠くにあるからです。同じきよりにならべると、太陽よりも明るい星が、たくさんあります。
- (3)①星Aはプロキオンで、こいぬ座にあります。星Bはベテルギウス、星Dはリゲルで、両方ともオリオン座にあります。星Cはシリウスで、おおいぬ座にあります。
- ②③シリウスは星座をつくる星の中で、もっとも明るく見えます。
- ④⑤ベテルギウスは赤く、リゲルは青白く見えます。星の色はその表面の温度によってきまり、明るさとは無関係です。表面の温度が低い星は赤く、高い星は青白く見えます。太陽の表面の温度は約6000℃で、黄色く見えます。
- (4)①②星Eはデネブで、はくちょう座にあります。星Fはベガで、こと座にあります。星Gはアルタイルで、わし座にあります。
- ③Xは天の川です。天の川はたくさんの星の集まり(銀河)です。
- ④ベガはおりひめ(しよく女)ともよばれます。また、アルタイルはひこ星(けん牛)ともよばれます。これらの星は、七夕の伝説で知られています。

## 2 &lt;星の動き&gt;

- (1)①図1の7つの星の集まりを北斗七星とといいます。北斗七星は、おおぐま座の一部です。
- ②星Xは北極星で、こぐま座にあります。北極星は真北の空にあって動かないため、方位を知る手がかりになります。しかし、あまり明るくないので、さがすのにやや苦勞します。北極星は、図Iや図IIのようにして見つけることができます。なお、図IIにある星座を、カシオペヤ座とといいます。

図 I

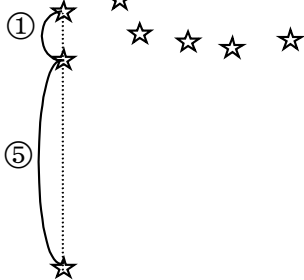
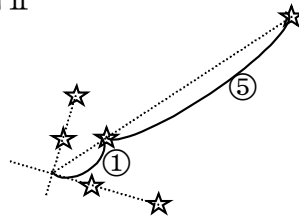


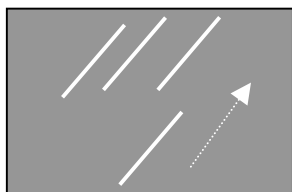
図 II



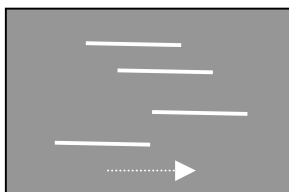
- ③北斗七星は、5月上じゅんの午後8時に、図の位置に見られます。
- ④北の空の星は、北極星を中心にして、1日(24時間)で1回(360度)回転して見えます。したがって、1時間では15度(360度÷24時間)、2時間では30度(15度×2時間)回転した位置にあります。また、回転の向きは時計のはりの動きと反対(反時計回り)です。
- ⑤同じ時刻に観察したとき、北の空の星は、北極星を中心にして、1年(12ヶ月)で1回(360度)回転して見えます。したがって、1ヶ月では約30度(360度÷12ヶ月)、3ヶ月では90度(30度×3ヶ月)回転した位置にあります。また、回転の向きは反時計回りです。

(2)①問題のように写真を写すと、東の空は図Ⅲのように、南の空は図Ⅳのように、西の空は図Ⅴのようになります。

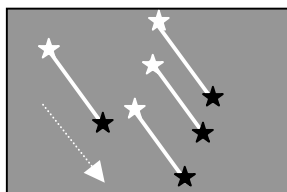
図Ⅲ



図Ⅳ



図Ⅴ



②図Ⅴの白い星が写しはじめ、黒い星が写しおわりの位置です。

### ③ <もののとけ方>

- (1)  $100\text{g} + 1\text{g} = 101\text{g}$
- (2) さとう、ホウ酸、食塩などは白いつぶですが、水にとかした液(さとう水、ホウ酸水、食塩水)は無色とう明です。ふつう、ものが水にとけると、無色とう明(りゅう)になります。硫酸銅(りゅう)をとかした液(硫酸銅水よう液)は、青くすきとおっています。
- (3) でんぷんやどろは、水にとけません。水に入れてかきまぜると、でんぷんは白くにごり、どろは茶色くにごります。これをしばらく置くと、でんぷんやどろがビーカーの底にしずみ、液はとう明になります。この液はふつうの水で、でんぷんやどろはまったくとけていません。
- (4) さとうを水にとかした液はさとう水、ホウ酸を水にとかした液はホウ酸水ですが、これらをまとめて、水よう液といいます。水よう液は水がじょう発したり、水温が変化したりしなければ、いつまでたってもそのまま、とかしたものがすがたをあらわすことはありません。また、水よう液のこさはどこも同じです。

### ④ <ものが水にとける量>

- (1) 水の量が2倍( $200\text{g} \div 100\text{g}$ )になると、とかすことができる量も2倍になります。  
したがって、 $5\text{g} \times 2 = 10\text{g}$
- (2) 水の量が半分( $50\text{g} \div 100\text{g}$ )になると、とかすことができる量も半分になります。  
したがって、 $9\text{g} \div 2 = 4.5\text{g}$
- (3) 表から、水の温度を高くすると、多くとかせるようになることがわかります。また、水の量を2倍、3倍…と増やすと、とかすことができる量も2倍、3倍…と増えます。かきまぜるとはやくとかすことができますが、多くとかせるようにはなりません。
- (4)①アルコールランプには、8分目くらいのアルコールを入れます。
- ②アルコールランプを消すときには、ほのおにふたをかぶせます。また、一度ふたを取り、アルコールのじょう気をとばしてから、もう一度ふたをしめます。このようにしないと、次に使うときに、ふたがあかなくなってしまうことがあります。
- ③とけるだけとかした水よう液のことを、ほう和水よう液といいます。
- ④ $24\text{g} - 5\text{g} = 19\text{g}$
- ⑤ろうとの足のとがった先が、ビーカーのかべにつくようにします。  
また、ろ紙はろうとより小さいものを使います。

## ① <くだもの・豆類・いも類・飼料作物>

- (1) 「外国産のオレンジときびしい競争」から、「この作物」はみかんと判断します。1991年のオレンジの輸入自由化以来、日本のみかん農家はきびしい競争にさらされ、経営が成り立たない農家が少なくありません。そこで、出荷時期を早めた「早生みかん」の栽培や、キウイフルーツへの転作などをしいられています。
- (2) 盆地はまわりが山に囲まれているので、日当たりの良い斜面が多い、強い風があまりふかない、気温の日較差(昼と夜の気温の差)が大きい、晴れの日が多く、日照時間が長いなどの理由で、おいしいくだもの栽培がさかんに行われています。くだものづくりのさかんな盆地は、甲府・長野・山形・福島盆地などです。
- (3) 「鹿児島県」・「甘みがある」から、「この作物」はさつまいもと判断します。さつまいもは、江戸時代、ききんに備えて栽培が広まった作物です。
- (4) 「納豆」から、「この作物」は大豆と判断します。したがって、小麦を主原料とする「うどん」があやまりになります。
- (5) 「家畜のえさの中心」から、「この作物」はどうもろこしと判断とします。日本のどうもろこしの自給率は1%以下で、そのほとんどをアメリカ合衆国からの輸入にたよっています。
- (6) 下線部bは、「巨峰」・「デラウェア」・「マスカット」などからぶどうと判断します。グラフのAはぶどう、イはりんご、ウはじゃがいも、エはみかんを表しています。

## ② <米の生産・輸入・流通>

- (1) あいがも農法は、水田にまく農薬の量を減らすために考えられたものです。あいがもは、雑草や害虫を食べる他、そのふんが水田の栄養分になります。また、あいがもが泳ぎ回することで、水田の土や水がかき回され、これによって稲に酸素がいきわたるといはたらきもあります。②の工は、れんげの根のはたらきによるものです。
- (2)①米の輸入は、1995年から始まりました。しかし、これは部分的市場開放で、国内消費量の4%を輸入するという最低輸入量＝ミニマム・アクセスを義務づけられたものでした。  
②米の輸入先は、アメリカ・タイ・中国・オーストラリアなどです。
- (3) 農協は農業協同組合の略称で、「JA」とも略されています。
- (4) 不作などに備えて、政府は100万トンの米を備蓄米としてたくわえています。
- (5) 小売店は、商品を消費者に直接売る店のことです。問屋は、品物を生産者から仕入れて、小売店に卸売りする店です。
- (6) 有機JASマークは、国によって有機農産物であることが認められた飲食物につけられるマークです。また、有機栽培とは、化学肥料や農薬を使わずにたい肥など自然の肥料を使って栽培することです。「有機」の本来の意味は、「生命力を有する」ということです。

## ③ <米の生産とおもな産地>

- (1)①東北地方は、地方別で見ると最も米の生産が多い地方です。特に秋田県(秋田平野や能代平野)、山形県(庄内平野)、宮城県(仙台平野)の生産高は多く、味の良く、人気の高い米の産地として知られています。
- ②北陸地方とは、中部地方の日本海に面した地方で、北から順に新潟・富山・石川・福井の4県があります。
- ③「ひとめぼれ」は、「ササニシキ」の後継品種として品種改良され、宮城県を中心に生産されています。「きらら397」は、北海道の上川盆地を中心に生産されています。「はえぬぎ」

は、山形県庄内平野を中心に生産されています。

④「単作」に対して、高知平野などあたたかい地方では、同じ耕地で年2回作る、米の「二期作」がさかんに行われていました。しかし米の二期作は、米があまるようになったことや、重労働の割には収穫量が少ない(土地がやせる・台風の被害を受けるなどの理由)ことなどで、現在は行われていません。

(2) ①は田起こし、②は稲刈りを表しているのです、トラクター、コンバインをそれぞれ使って農作業をすすめます。

(3)①日本の経済が発展し、国民の生活が豊かになるにつれて、人々はパン・肉・牛乳・乳製品などを食べたり飲むようになり、食生活が洋風化していきました。これにともなって、米の消費量が減り、あまるようになりました。(例)昔の日本人の朝食は、ごはん・納豆・焼き魚・のりなどが定番でしたが、今では、パン・牛乳(コーヒー)・ハムエッグ・サラダというような洋風化した朝食をとる人が多くなりました。

②③米の生産調整のため、政府は転作と休耕を内容とする減反政策を、1970年からとるようになりました。しかし、休耕は田に何も作付けしないため、雑草が生え、荒地になったため、農家は休耕について拒否するようになりました。そこで、政府は休耕の強制を見直し、田に稲を栽培し、稲穂が実る直前に刈り取る「青刈り」をすすめました。

#### 4 <野菜づくりのさかんな地域と栽培方法>

(1)①関東地方には大都市が多く、大都市向けに野菜や草花を栽培する近郊農業がさかんです。これは新鮮なうちに出荷できる有利さを生かしたもので、特に房総半島(千葉県)、三浦半島(神奈川県)などで行われています。三浦半島には、「三浦大根」・「三浦キャベツ」・「三浦すいか」などの名産があります。

②たまねぎの生産は、北海道や兵庫・佐賀・愛知・香川県などが上位をめています。

(2) 高原のすずしい気候を利用して、冬野菜を夏前後に出荷する高冷地農業は、長野県の野辺山原・群馬県の嬭恋村などでさかんに行われています。冬野菜は、キャベツ・はくさい・レタスなどで、これらは「葉を食べる野菜」です。これに対して、「根を食べる野菜」は、大根・にんじん・ごぼうなどで、「実を食べる野菜」は、なす・トマト・きゅうり・ピーマンなどです。

(3) 夏の野菜を、あたたかい気候とビニールハウスを利用して冬前後に出荷する、野菜の促成栽培＝野菜の早づくりは、高知平野・宮崎平野を中心に、冬でも比較的温暖なところで行われています。露地栽培に加え、促成栽培、高冷地農業が各地で行われていることで、私たちは一年中、いろいろな種類の野菜を食べることができるのです。